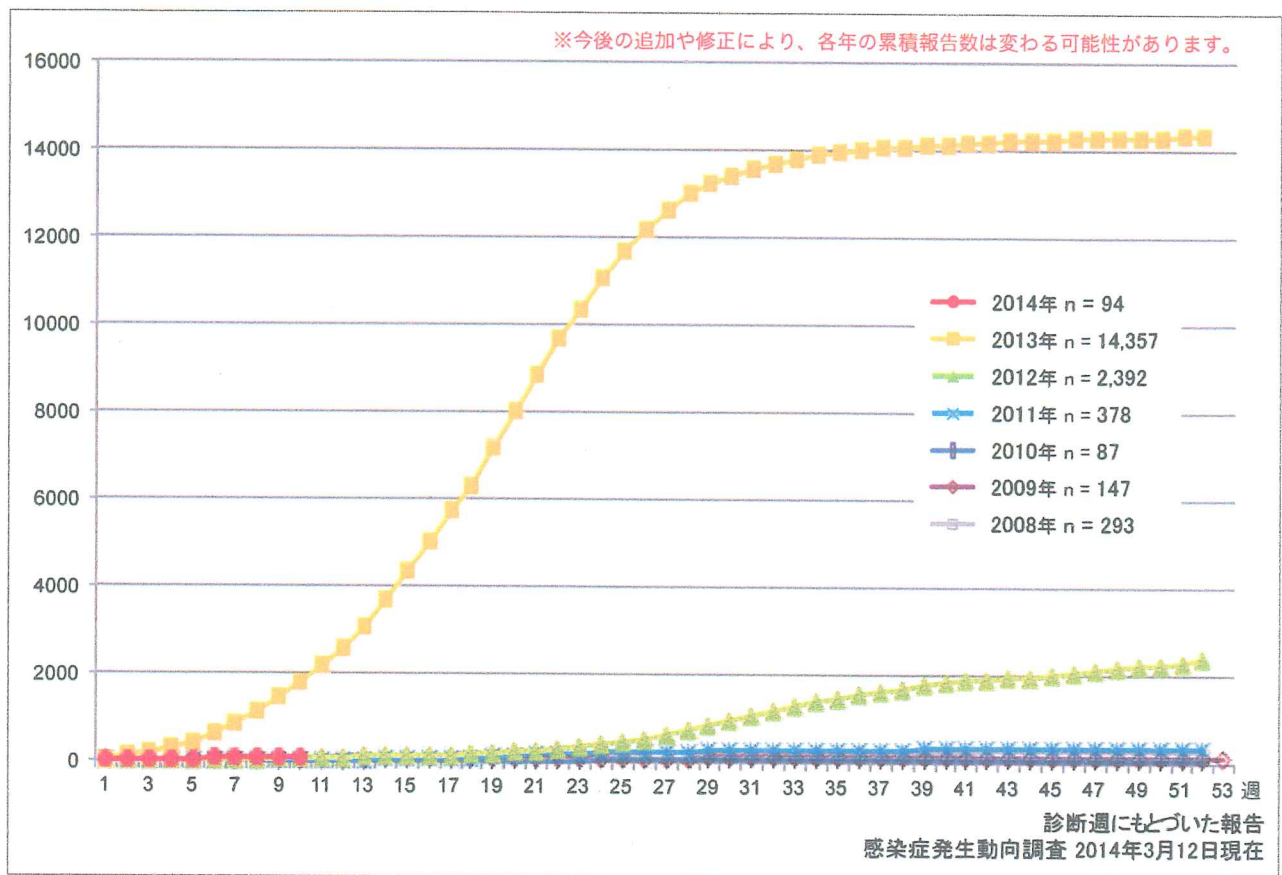


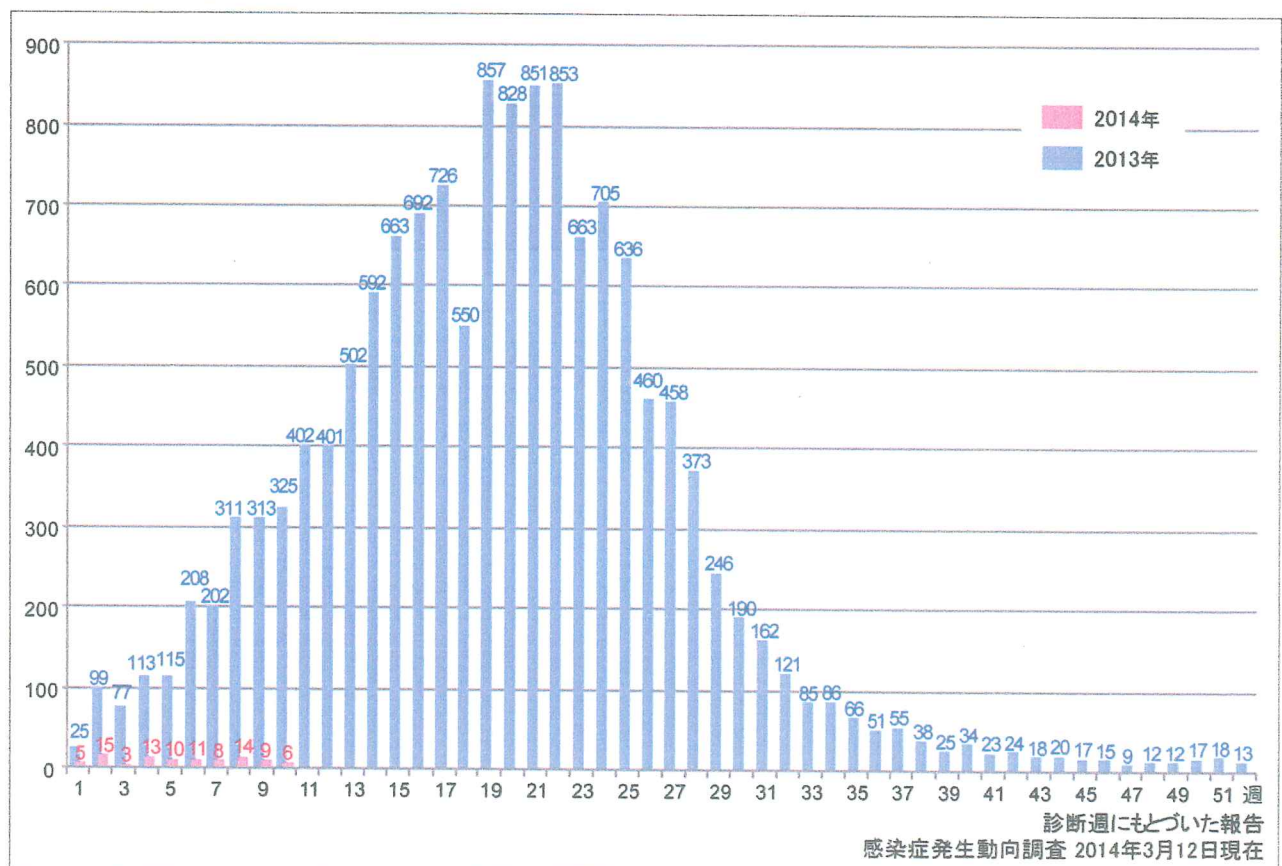
1. 風しん累積報告数の推移 2008～2014年(第1～10週)

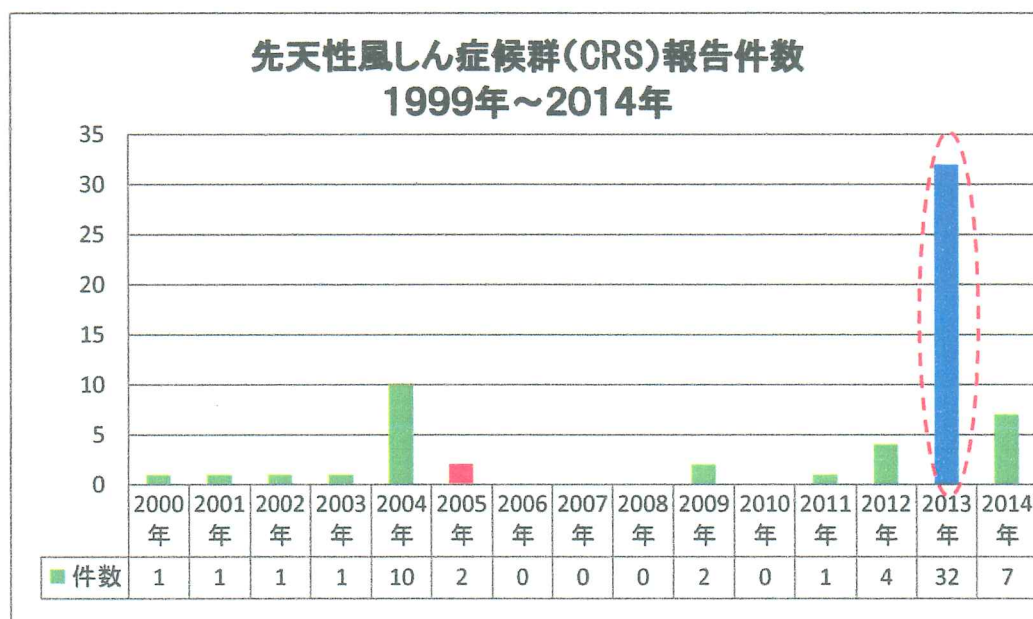
Cumulative number of rubella cases by week, 2008-2014 (week1-10)
(based on diagnosed week as of March 12, 2014).



2. 週別風しん報告数 2014年 第1～10週(n=94)

Weekly rubella cases from week 1 to week 10, 2014 (based on diagnosed week as of March 12, 2014).





【厚生労働省ホームページ抜粋】

＜風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう。＞

【風しんの定期予防接種対象者】

1歳児及び、小学校入学前1年間の幼児は、多くの市区町村において、無料で受けられます。

また、妊婦を守る観点から、特に、

- (1) 妊婦*の夫、子ども及びその他の同居家族などの、妊婦の周囲の方
- (2) 10代後半から40代の女性(特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方)
- (3) 産褥早期の女性

のうち、抗体価が十分であると確認できた方以外の方は任意での予防接種を受けることをご検討ください。

*先天性風しん症候群のリスクは妊娠初期で高く、抗体が不十分な方に生じるため、優先接種者の中でも妊娠を希望する女性で抗体価が不十分な方や、妊娠初期の方の周囲の方が、より優先度が高いと考えられます。

～先天性風しん症候群とは～

免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、風しんウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがある。風しんのサーベイランスやワクチン接種は、先天性風しん症候群の予防を第一の目的に考えている。